

第 24 回 維持管理・環境管理専門委員会 第 4 回 H29 年度イベント実行委員会

議事録

- 日時 : 平成 29 年 6 月 8 日 (木) 9:30~11:40
- 場所 : 上尾市コミュニティセンター

- 資料

- ・ 資料-1. 前回の議事録
- ・ 資料-2. 3自治体春イベント
- ・ 資料-3. 5/18 維持管理作業
- ・ 資料-4. 6/25 のイベント計画について
- ・ 資料-5. H29 の秋のイベント計画について
- ・ 資料-6. H29 の工事について
- ・ 資料-7. エコロジカルネットワークについて
- ・ 参考資料 1. 寄付金等の取扱細則
- ・ 参考資料 2. 今後の予定

【議事結果】

- ① 4 月 29 日の輪中ウォーキングで出展した場所は、次年度からはウォーキングの「ポイント」としてもらえるように町に働きかける。
- ② 6/25 のイベントについて、申し込み者が少ないため、各委員にて知己等に紹介する。
- ③ ハリエンジュは周辺に増えていかないように今のうちに対応していきたい。外来種をすべて管理対象とするのは無理なので、影響が大きいものを優先的に対応することを考える。
- ④ 秋のイベントについての詳細・対応事項（スタッフ、募集人員等）を決定した。昆虫観察の内容や参加者向けサービス内容については、長畑委員と打合せを行って決め、結果をイベント実行委員会に報告して共有する。助成金の申請対象は、現時点ではチラシ・ポスター関係と椅子とする。スタッフとして外部（高校の放送部等の司会協力等）の協力を依頼する。
- ⑤ 下池の掘削については、事務局提案の掘削（水路と接続するトレンチによる早期湿潤化含む）を了承する。H28 年度掘削でゴミが出土した範囲（G 域周辺）は、現時点で新たな掘削は行わず、今後掘削するとしてもゴミの処分がきちんとできるときに行う。
- ⑥ 中池の管理用通路の事務局案については、樹木伐採が必要となることから、6/25 のイベント前に現地を確認してルート等について協議する。
- ⑦ エコロジカルネットワークの検討については、小川委員から平成 29 年度中の作成を目標とする計画の提案があった。委員長と事務局で、具体的な進め方の案を作成し、次回の委員会で検討を行う。

【議事内容詳細】

- 前回の議事録について
- ・ 質疑なし。

● 3 自治体春イベント

- ・ 4 月 29 日の輪中ウォーキングでは堤防付近でジャコウアゲハ保全活動についても紹介したので、記録に追加しておく。
- ・ 4 月 29 日の輪中ウォーキングで出展した場所は、次年度からはウォーキングの「ポイント」としてもらえるように町に働きかける。(トイレも設置してもらうようお願いする。)
- ・ 6 月 3 日の上尾市環境推進大会は、今回は子どもが対象とされていなかったのが残念だった。次年度は会場が昨年度までと同じ文化センターに戻って子どもも再び対象に含まれると想定されるが、そうでない場合は上尾市の子ども向けに太郎右衛門地区を紹介する機会を作りたい。
- ・ アンケートの結果グラフの間違いを修正しておく。また、凡例をイベント名に変更する。(イベントごとのグラフに変更するとの意見もあったが、このままで良いことになった。)

● 5/18 維持管理作業

- ・ ハリエンジュはこれまで冬に 2 回伐採したが、すごい勢いで萌芽していた。周辺に増えていかないようにいまのうちに対応していきたい。他の外来種についても同様である。
- ・ 外来種をすべて管理対象とするのは無理なので、影響が大きいもの、影響があるかどうかよくわからないものなど優先度をつけて対応することを考える。
- ・ 河川域での外来種の管理は、本来的には「多自然川づくり」の中で取り組まれるべきと考えられる。協議会としてそのような提案がしていけると良い。

● 6/25 のイベント計画について

- ・ 申し込み数が少ないため、各委員にて知己等にチラシを配る。メ切的「6/15」は少しオーバーしても構わない。
- ・ 三ツ又沼ビオトープで過去に実施していたミドリシジミの観察会は人気があったので、紹介の方法を工夫すればもっと人が来てくれるように思われる。
- ・ ミドリシジミは美しい生物なのでアピールに利用したい。特に地元の人向けに活用できると良い。

● H29 の秋のイベント計画について

- ・ 昆虫観察担当の長畑委員・荒木委員の役割分担は決定済み。未決定の役割分担について、副実行委員長は井上さん(埼大生)、外来種除草はリーダー小川委員・サブ堂本委員、受付担当は柴田委員と埼大生・事務局、班引率は川島委員・菅間委員と事務局、物品購入および助成申請は川島委員、会計は堂本委員とする。
- ・ イベントスタッフとして外部協力者が得られるように考える。例えば、司会については近隣の高校の放送部等への協力依頼などを考える。
- ・ 募集人員はこれまでと同じ 100 人とする。
- ・ 昆虫観察の内容については、長畑委員と打合せを行って決め、結果を委員会に報告して共有する。
- ・ 助成金の申請対象は、現時点ではチラシ・ポスター関係と椅子とする。
- ・ チラシ・ポスターデザインはこれまでと同じ担当者に依頼する。
- ・ 昨年度は工事業者が提供してくれたトイレ、安全管理用の整備については保留とする。

- H29 の工事について
 - ・ 下池の掘削については、事務局提案の掘削（水路と接続するトレンチによる早期湿潤化含む）を了承する。H28 年度掘削でゴミが出土した範囲（C 域周辺）は、現時点で新たな掘削は行わず、今後掘削するとしてもゴミの処分がきちんとできるときに行う。
 - ・ 中池の管理用通路の事務局案については、樹木伐採が必要となることから、6/25 のイベント前に現地を確認してルートの変更等について協議する。（13 時に本田航空近くの横堤集合）。

- エコロジカルネットワークの検討方針について
 - ・ 流域で一体的な取り組みを推進していくことが重要であるため、引き続き検討する。
 - ・ エコロジカルネットワークの検討については、小川委員から平成 29 年度中の作成を目標とする計画の提案があった。委員長と事務局で、具体的な進め方の案を作成し、次回の委員会で検討を行う。

- その他
 - ・ 「寄付金等の取扱細則」で未定となっていた「監査員 2 名」について、本委員会において川島委員・荒木委員の立候補を受けた。次回協議会に本委員会から推薦する。

- 次回の維持管理・環境管理専門委員会、イベント実行委員会について
 - ・ 次回も両委員会の合同開催とする。
 - ・ 次回日程は、8 月 29 日（火）午前中に開催する。

以上